

ヤングケアラーについて

✓ ヤングケアラーとは？

「ヤングケアラー」とは、本来大人が担うと想定されているような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことです。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目の見えな家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがあります。



✓ ヤングケアラーの実態

小中高大生に対し、世話をしている家族の有無について質問しました。この中には幼いきょうだいの世話等も含まれますが、支援が必要なヤングケアラーが一定数存在することが分かりました。



※通信制高校生について、本設問は18歳以下、19歳以上の年齢別に聞いており、年齢の設問に無回答であった1名は回答の対象外となっている。

※通信制高校生は「18歳以下」と「19歳以上」の合計。19歳以上は「いた(現在はお世話をしていない)」、「現在まで継続してお世話をしている」が「いる」に含まれる。

※大学生は「いない」の中に、「現在はいないが、過去にいた」人が4.0%含まれる。

※厚生労働省「ヤングケアラーの実態に関する調査研究」より

✓ 皆様へのお願い

- ヤングケアラーは案外身近にいます。ただし、家族をケアすることで責任感が芽生える等の良い側面もあるため、ケアすることだけをもって「可哀想」と思うのではなく、子どもの頑張りを認めてあげるようにしてください。
- もし、ヤングケアラーと感じる子どもを見つけた場合、教職員等へ相談してください。その後、スクールソーシャルワーカー等を通じて関係機関と連携し、その子どもへ必要な支援を行っていきます。
- その他厚生労働省の特設ホームページでも、様々な相談先等を紹介しているのでぜひご覧ください。

子どもが子どもで
いられる街に。

ヤングケアラー
で検索！

<https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>

